

# 令和7年度府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点  
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

## 1 現状及び課題等

### (1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①自分が理解したことや考えたことなどを、他者に伝えることに消極的である。
- ②分からないときに質問や相談をしながら、自分の考えを広げ深めようとする力が十分でない。
- ③どのようにすればもっとうまくできるかなどを考え、工夫しながら学習を進める力が十分でない。

### (2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①児童が、自分が理解したことや考えを自信をもって発信できる環境づくりや機会が十分でない。
- ②児童同士が相談をしながら、自分の考えを広げたり深めたりできる指導が十分でない。
- ③どのようにすればもっとうまくできるかなどを考えさせる時間の確保や、工夫させるための手立てが十分でない。

## 2 学校全体で目指す授業像

### (1) 目指す児童の学びの姿

- ①自分が理解したことや考えたことなどを、積極的に他者に伝えようとする子。【対話・表現】
- ②分からないときに質問や相談をしながら、自分の考えを広げたり深めたりしようとする子。  
【対話・発見】
- ③自己の学習の仕方を振り返り、次の学びに生かそうと工夫しようとする子。【発見・決定】

### (2) 目指す授業像

- ①②ペア、グループでの話し合い活動を計画的に取り入れた授業。また、話し合う目的を明確にした授業。【対話・表現】
- ③具体的な工夫の仕方を指導するとともに、学習を振り返る時間を確保し、次の学習に活かしたりつなぐりをもたせたりする授業。【発見・決定】

## 3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

### (1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	学習用語や言葉の意味などを正しく理解させるとともに、登場人物の行動や心情等を、叙述を基に説明できるように指導する。自分の考えを伝え合い、学び合える言語活動を充実させる。 【対話・表現】 めあてを意識し、見通しをもって学習することで、学びを自己調整しながら粘り強く物事に向き合う姿勢を育てる。 【発見・決定】	音楽	楽譜に込められている作者の思いを、音符・強弱記号・歌詞などから読み取り、どのように表現するかを考えたり、演奏の仕方を工夫したりする指導の充実を図る。 【発見・表現・対話】 様々な楽器に触れ、その音色や響きを楽しみながら、楽器の特徴や奏法を知る学習の場面を設定する。 【発見・対話】
算数	日常生活の場面と関連付けて、データの特徴や傾向に着目して考察する力を育てる指導の充実を図る。伴って変わる2量について、変化の規則性をもとに筋道立てて考え、式に表したり、言葉で説明したりする指導の充実を図る。【発見・表現】	図画工作	自ら目標や課題を見付け、解決したり話し合ったりする題材の工夫、指導の充実を図る。 【発見・対話】 材料や用具を試す場面、既習の知識や技能を振り返る時間を設定し、表現方法や進め方を選択したり考えたりする時間を充実させる。 【決定・表現】
社会	児童が資料から情報を適切に読み取り、課題に対して根拠をもって考えを表現できるようにするために、図や写真、グラフなどの活用に加え、児童同士の交流や ICT 機器の活用を取り入れた授業改善を図る。【発見・対話】 資料を根拠として選び取る力を育てる指導も充実させ、主体的で深い学びにつなげていく。【決定・表現】	家庭	段階的に技能を習得できる場を設定し、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。【決定】 主体性をもって活動ができるよう、活動の内容や手順を明確にする。【対話・表現】

## 令和7年度府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

<b>理科</b>	より安全・適切な方法で観察や実験ができるよう、既習事項の確認や振り返りの時間の充実を図る。【発見・対話】 観察・実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察させる際などに、グループ内で話し合う場面を設定する。【対話・表現】	<b>体育</b>	児童自ら課題を見付け、他者と協力しながら解決する指導の充実を図る。【発見・対話】 段階的に技能を習得できる場を設定し、児童が自己に適した運動を選択できるようにする。 【決定・表現】
<b>生活</b>	体験を重視し、実際に観察したり、見学やインタビューをしたりする活動を多く取り入れていく。【発見】 また、体験から多くの気づきが得られるよう、地域の人や友達と交流する時間を多く設定する。【対話】	<b>外国語</b>	発話量を増やすために、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材を用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】 授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関係する英語表現を確認する。【対話・表現】

### (2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィグジャムやスライド、スプレッドシートを活用して、自分の考えを表現する。【表現】</li> <li>・単元末の振り返りとして、eライブラリアドバンスを活用し、自らの達成度を把握させる。【発見】</li> </ul>
--